



熱塩小学校では、農業科の取り組みとして、田ではうるち米・もち米作りを行っている。

毎年、春になると全校生で「どろんこ祭り」を行い、子どもたちはその年の豊作を祈願し、泥に足を入れ、元気な声で神輿^{みこし}を担ぐ。



秋になり、実ったもち米は、児童と保護者で収穫祭を行い、その中で餅つきを行い、みんなで食している。

収穫の喜びを感じ、地域の方々の協力に感謝をしながら、餅をつく子どもたちの姿はいきいきと輝いている。



10月16日、6年生は2回目のファームステイを行った。4年間の農業科の学習を生かして、地域の農家を訪問し、実際の農家の活動を体験してくる。「農業や野菜に対する思い」や「まごころ野菜の生産の苦労」について、体験やインタビューを通して感じる事ができた。



育てたもち米は収穫祭だけではなく、5年生を中心とした「赤飯配り」にも用いられる。

地域に住む一人暮らしのお年寄りに、民生委員の協力を得て児童が自分達で作った赤飯を、手渡しで配っている。涙を浮かべ感謝の言葉を述べるお年寄りの姿に子どもたちも感動を受けていた。